

この講座で学ぶこと

この講座のテキストは3冊で、「はじめに」と全15レッスンから構成されています。

TEXTBOOK 1では、まず「はじめに」で、どうして実務翻訳を英文法から学ぶ必要があるのか、「文法事項」と「語法」、日本語と英語とのギャップや品詞のパターン、日本語にない冠詞や前置詞、翻訳テクニックの効果的学習法など、実務翻訳を学習する前に押さえておきたい基本中の基本（実務翻訳を学ぶ学習者の心構えなど）を解説しています。

続く LESSON 1-4 では、名詞、冠詞、動詞、前置詞の各品詞を取りあげます。品詞のさまざまな用法を、はじめて実務翻訳を学ぶ学習者にもわかるように、短文演習によって、文法事項や語法からマスターしていくと同時に、実務翻訳に必要な基本的な翻訳テクニックを学んでいきます。

TEXTBOOK 2 の LESSON 5-10 では、副詞、形容詞、助動詞、関係詞と疑問詞、接続詞の各品詞とその他の用法を取り上げます。TEXTBOOK 1 と同様に、短文演習によって、文法事項や語法をマスターしていきながら実務翻訳の基本的な翻訳テクニックを学んでいきます。

TEXTBOOK 3 では、LESSON 11-14 で、基本的な翻訳テクニック、各種の応用テクニック、パラグラフの翻訳演習、長文の翻訳演習を取りあげ、TEXTBOOK 1 と 2 で学んできた実務翻訳の英文法を踏まえながら実務翻訳の実践的な演習をしていきます。

直訳、意訳、対応表現という翻訳テクニックや、自然な日本語表現の工夫、最適な訳語の選択、頭から訳す場合、真意を汲み取る、冗長表現と重複表現、文脈判断による生きた訳語などさまざまなポイントを理解したうえで、【試訳】、【訳出上のポイント】から【改良訳】へと至るプロセスを学びます。LESSON 15 は、執筆者のこれまでの経験を踏まえて、これからの実務翻訳の学習に関するさまざまなヒントを紹介しています。今後の学習の参考にしてください。

各 LESSON は、Step 1 と Step 2 とステップアップ方式です。

各 LESSON の最後に、EXERCISE があります。

この講座の特長

この講座は、はじめて実務翻訳の学習をされる方が、実務翻訳に必要な英文法と同時に基本的な実務翻訳のテクニックを短期間で確実に身につけ、今後の継続的な実務翻訳の学習につなげていただくための講座です。主な特長は次のとおりです。

■ TEXTBOOK の構成と内容

- 実務翻訳に不可欠な英文法を総復習する感覚で、どんどん学習が進められるテキスト構成です。
 - ・各学習項目をすべて4頁で構成しているため、見やすく、解説も簡潔。
 - ・各学習項目は、すべて Step 1 と Step 2 の演習形式のステップアップ方式。まず演習問題を解いてから、すぐに解答と解説で確認できる。
 - ・ Step 1 のあとの「文法解説・ここがポイント」で、実務翻訳に必要な文法のポイントや補足事項を解説。
- 実務翻訳の英文法の知識と同時に翻訳の基本テクニックを確実に学びます。
 - ・文法のポイント、訳出上のポイント、翻訳テクニックを簡潔に解説。
 - ・訳例（×）（△）と良い訳（○）の比較で、訳語の選択の方法がわかる。
 - ・【試訳】と【改良訳】を比較することにより、翻訳ポイントが確実に理解できる。
 - ・直訳、意訳、対応表現などの表現のバリエーションが学べる。
- テキスト構成は、TEXTBOOK 1 と 2 で、実務翻訳英文法と実務翻訳の基本的なテクニックを学習し、TEXTBOOK 3 でより実践的な実務翻訳のテクニックを学びます。
 - ・TEXTBOOK 1 と 2 では、文法解説と短文での演習。一般文法書や辞書にない実務翻訳の定石、実践的用例や語法が満載。解説も簡潔。
 - ・TEXTBOOK 3 では、パラグラフおよび長文での実践的な翻訳の演習。「解説・ここがポイント」で実務翻訳のツボが体感できる。
- 英文和訳と和文英訳の両方向から演習します。
 - ・実務翻訳の学習効果を高めるために和文英訳の演習を取り入れ、「英⇄和」両方向の学習アプローチにより英語に対する理解が深まる。
 - ・和文英訳の演習により英訳の考え方が身につく。
- 文法ワンポイント
番外編の文法事項のトピックです。テキストとは別の視点から文法理解を深めます。